新発田の偉人

▲『花嫁人形』発表の頃 25歳

蕗谷虹児（ふきやこうじ）

モダンな画風で一世風靡した、多才なアーティスト

蕗谷虹児（1898-1979年）は竹久夢二の紹介により女性雑誌に絵や詩を発表し、そのモダンな作風が読者の熱狂的な支持を得て、一躍人気スターとなりました。シャープな線によるペン画や、数々の雑誌を飾った華やかな表紙やロ絵、明るくみずみずしい色彩に溢れた絵本の挿絵は多くの人に愛されてきました。童謡「花嫁人形」の作詩者としてもよく知られています。画家、イラストレーター、詩人、グラフィック・デザイナーなど、一人何役もこなす多才なアーティストでした。

●蕗谷虹児記念館【裏面MAP C-2】

代表作

1942年「おやゆび姫」　1973年「うたたね」
1956年「かぐやひめ」　1973年「西堀通り」
1968年「花嫁」

年譜

明治31年	新潟県新発田市に生まれる。
大正元年	14歳、同郷の日本画家・尾竹竹坡の内弟子となり、上京。
大正8年	21歳、竹久夢二の紹介で「少女画報」に処女の筆名で挿絵を描いてデビュー。
大正10年～14年	23歳、婦日新聞の連載小説の挿絵に抜擢される。「今女界」「少女倶楽部」などに表紙絵や口絵を描き人気作家となる。「銀の吹笛」「幽霊の夢」など詩画集9冊を出版。
大正14年～昭和4年	パリ留学、公募展サロン・ナショナル、サロン・ドートンヌに連続入選。画廊ジワイで個展、巴里画信を各誌に送稿。
昭和6年～	帰国後、モダンな画風で一世を風靡する。8年、親子と結婚、10年、詩画集「花嫁人形」。
昭和21年	戦後復刊された各誌に挿絵再開。25年、絵本を描き始める。
昭和43年	小田急百貨店で画業50年記念抒情画展」に後、同画廊で6年間に5回、個展を開く。
昭和54年	中伊豆温泉病院にて急性心不全のため死去、80歳。

大倉喜八郎（おおくらきはちろう）

明治・大正時代の実業界の雄、新発田が誇る大実業家

大倉喜八郎は、日本を代表する実業家の一人です。江戸時代の新発田藩に生まれ、幼名を鹿吉といいました。高名な学者である[月岡雪鼎]の塾で学び、読み書き、算術に才能を発揮し、商業の道へ入りました。明治に入ると、いち早く海外の商業を学び、次々と事業を成功させ、日本を代表する有名企業を創業。帝国ホテルや帝国劇場の建設、美術館創設などの文化事業にも尽力しました。また、郷里の新発田の繁栄を願って大倉製糸新発田工場を設立、当時の新発田町へ多額の寄附も行っており、新発田の発展に多大な功績を残しました。

年譜

天保8年	越後国新発田城下（現新発田市大手町）に生まれる。
明治5年	大倉組商会を創業。翌明治7年には、日本初の海外進出商社として、ロンドンにも支店を開く。
明治16年	東京電灯会社（現東京電力）を設立。
明治21年	札幌麦酒（現サッポロビール）を設立。
明治26年	大倉土木組（現大成建設）を設立。
明治43年	日中合弁本渓湖煤鉱公司を設立。
大正4年	永年の勲功で男爵を受爵。
昭和3年	1月に勲一等旭日大綬章を受章、同年4月に死去。享年92。

業績

喜八郎は、年譜に示したほかにも、千代田火災海上（現あいおいニッセイ同和損害保険）や日清製油（現日清オイリオグループ）、東海パルプ（現特種東海製紙）、日本化学工業、リーガルコーポレーション、ニッピなど、数多くの有名企業の創業に携わりました。また、鹿鳴館（明治16年）、帝国ホテル（明治23年）、帝国劇場（明治43年）などの建物を建設した（年は竣工年）ほか、明治11年には、渋沢栄一らと共に東京商法会議所（現東京商工会議所）を設立するなど、当時の日本を代表するような大きな事業を手がけ、政財界に大きな影響を与えました。喜八郎は、教育や文化事業にも熱心で、明治33年に大倉商業学校（現・東京経済大学）を創設したほか、大正6年には日本初の私立美術館である大倉集古館を設立しました。その他、札幌のジャンプ台・大倉山ジャンプェは、昭和6年に喜八郎の息子喜七郎が建設し、札幌市に寄贈しました。

ゆかりの場所

大倉喜八郎生誕の碑【裏面MAP A-2】

天保8年（1837年）、大倉喜八郎は越後国新発田城下の下町（現在の大手町）に生まれました。それを記念して平成13年に建てられた石碑です。石碑のすぐ脇にある「下町小組合跡」には、喜八郎の所蔵品や写真、関係資料などが展示されています。

東公園【裏面MAP D-4】

大正5年（1916年）、大倉喜八郎は隣接に約3,000坪の土地を寄入し、公園を造成して当時の新発田町に寄附しました。それが現在の東公園です。公園には記念碑が建つほか、喜八郎が東京・向島に建てた別邸「総善館」が移築され、建物内部の見学が可能です。

大倉製糸工場跡地【裏面MAP E-4】（現・新潟県立新発田病院）

大正8年（1919年）、大倉喜八郎は城大倉製糸新発田工場を買収。その跡地には、新潟県立新発田病院が整備されました。病院前の公園には喜八郎の銅像が設置され、病院の11階にある展望ギャラリーには、喜八郎に関係する写真が常設展示されています。

堀部安兵衛武庸（ほりべやすえたけつね）

高田馬場の英雄、赤穂四十七士一の剣豪

赤穂浪士四十七士の一人に数えられる堀部安兵衛は新発田藩中山弥次右衛門の嫡子として新発田に生まれました。父・弥次右衛門が喧嘩の失火の責任をとり浪人となりますが、間もなく亡くなり、中山家の菩提寺である長徳寺に葬られました。その後、安兵衛は長徳寺に印鑑と共に石代松を預け江戸に出府しました。長徳寺の「堀部安兵衛手植えの松」はこの時に残したものと伝えられています。その後、叔父堀の義を結んだ菅野六郎左衛門と村上兄弟との高田馬場の決闘の助太刀で一躍名をあげます。元禄14年3月14日の「松の廊下」の刃傷事件で主君は即日切腹、赤穂藩はお取り潰しとなりましたが、吉良上野介には何のお咎めもありませんでした。幕府の沙汰を不服とし、大石内蔵助をはじめとする赤穂浪士四十七士は、元禄15年12月14日主君の仇討のため吉良邸に討ち入り、念願の義挙を果たしました。

ゆかりの場所

堀部安兵衛誕生之碑【裏面MAP C-1】

堀部安兵衛手植えの松（2代目）【裏面MAP A-3】

堀部安兵衛像【裏面MAP B-1】

新発田エリア広域マップ

あやめの湯・あやめ園 徒歩・バス停拡大マップ

おすすめスポット！

お問合わせ

月岡温泉旅館協同組合
〒959-2338
新潟県新発田市月岡温泉546-1
TEL：0254-32-2975
http://www.tsukiokaonsen.gr.jp

詳しくは月岡温泉マップをご覧ください。

INFORMATION
新発田への交通アクセス

JRをご利用の方は

【秋田方面】羽越本線——→新発田駅下車
【東京方面】上越新幹線——→新潟駅——→白新線——→新発田駅下車
【大阪方面】信越本線——→新潟駅——→白新線——→新発田駅下車

●バス　新潟交通観光バス（株）新発田営業所……TEL.0254-23-2111

●タクシー
大陽交通新発田中央株式会社……TEL.0254-22-1166
新発田観光タクシー……TEL.0254-22-3188
下越タクシー……TEL.0254-22-4714

●レンタカー
ニッポンレンタカー……TEL.0254-22-1808
トヨタレンタカー……TEL.0254-26-0200
オリックスレンタカー……TEL.0254-27-6543
カースタレンタカー……TEL.0254-28-0150

お車でおこしの方は

【関越・北陸自動車道】→【日本海東北自動車道】
聖籠新発田I.C——→新発田
【磐越自動車道】安田I.C——→国道290号線——→新発田

空路でおこしの方は

【新潟空港より車で30分】
新潟空港——→シャトルバス約25分→新潟駅→白新線→新発田駅下車

バスをご利用の方は

●月岡温泉へ「ぷらさんシャトルバス」毎日運行中！

JR豊栄駅（新潟駅から白新線で約20分）から月岡温泉街までのシャトルバスが運行しています。
【運賃】片道・大人300円/小学生以下150円
【お問合せ】新潟交通観光バス新発田営業所　TEL.0254-23-2111

■月岡温泉発
9:30／11:00／15:05

■JR豊栄駅発
10:15／14:35／15:35／16:50／18:00

●新発田市内で「あやめバス」運行中！

新発田の市街地を回る「あやめバス」が運行しています。市内の観光やちょっとしたお買い物に…どうぞお気軽にご利用ください。
【運　賃】一人乗車100円（小学生50円/未就学児無料）
【回 数 券】「新発田市コミュニティバス」の回数券と共通。／1,000円分回数券（100円×11枚つづり）／500円分回数券（50円×11枚つづり）
【回数券販売】新発田市観光情報センター、あやめバス車内ほか
【お問合せ】新発田市市民まちづくり支援課　TEL.0254-28-9844

タクシー観光　駅から観タクン

2時間コース1台 8,000円　乗車可能時間 9:00～14:30

●1台あたり同じ料金で1～4名様までご乗車いただけます。
●途中買い物もOK！天候を見てから決められます。
●時刻で訪れた地でも安心・快適にお過ごしいただけます。

「城下町の歴史・文化」を訪ねて　新発田市を中心とした歴史的な名所巡りコース。

温泉のマントル岩硬めぐり　新発田の名湯をめぐる、温泉郷の岩盤、日々水温調節がの地を巡るコース。

どちらのコースも始発地は新発田駅ですが、降車地は新発田駅または月岡温泉が選べます。

※ご利用期間：4月1日～3月31日（除外日：12月27日～1月3日）※コースによって除外日があります。詳細は専用Webサイトをご確認ください。

レンタサイクル

お得な事前予約はコチラ▶

貸出場所／新発田市観光情報センター（新発田駅から徒歩1分）
貸出期間／3月下旬～12月上旬（8:30～15:00 ※最終返却16:30）
貸出料金／400円（電動アシスト付自転車は800円）
※貸出期間内であっても悪天候により貸出ができない場合があります。予めご了承ください。

■新発田市観光情報センター（一般社団法人 新発田市観光協会）
〒957-0055 新潟県新発田市富塚町1丁目2番11号 イクネスしばた MINTO館内　TEL.0254-26-6789　しばた観光ガイド

■月岡温泉旅館組合　〒959-2338 新潟県新発田市月岡温泉546番地1号　TEL.0254-32-2975　月岡温泉

■新発田市観光協会事務局　〒957-0055 新潟県新発田市富塚町1丁目2番11号 イクネスしばた MINTO館内　TEL.0254-28-9660

■新発田商工会議所　〒957-8550 新潟県新発田市中央町4丁目10番10号　TEL.0254-22-2757

※記載の料金や時間は2024年1月1日現在のものです。消費増税や事業者の都合等により変更になる場合があります。

発行：新発田市観光協会　第十

観光したい

見どころ満載の
新発田おすすめスポットを
ご紹介します。

くわしくはコチラ！
「しばた観光ガイド」

新発田城（国指定重要文化財） ❶ B-1

新発田のシンボル新発田城。別名「あやめ城」とも呼ばれ、本丸表門と旧二の丸隅櫓は国指定重要文化財で、平成16年に三階櫓と辰巳櫓が復元されました。なかでも三階櫓は三匹の鯱を配するという全国でも大変珍しい型のもので、平成18年4月に日本100名城に選定されています。
※三階櫓は外からのみ見学可。

【開門時間】9:00～17:00（11月は16:30まで）
【閉門時間】12月～3月（開門は早まる場合もあり）
【問合せ先】（一社）新発田市観光協会 ☎0254-26-6789

安兵衛茶屋 ❷ B-1

新発田城の真向かいにあるお休み処「安兵衛茶屋」。新発田の銘菓を販売するほか、郷土玩具「金魚台輪」土鈴への絵付け体験も行っています。休憩所や観光案内としても利用できますので、新発田城にお越しの際はぜひ足をお運びください。また、新発田城の関連グッズや御城印、城カードも取り扱っています。
【喫茶メニュー】
・コーヒー 等

【営業時間】10:00～16:00
【休業日】12月～3月
【問合せ先】（一社）新発田市観光協会 ☎0254-26-6789

蕗谷虹児記念館（ふきやこうじ） ❸ C-2

「金襴緞子の帯しめながら…」で始まる花嫁人形の詩の作者、蕗谷虹児。新発田生まれの虹児のモダニズムの世界を様々な絵や遺品を通して感じられる場所がここにあります。虹児の作品は、昭和モダンの世界へと誘ってくれます。年間を通してさまざまな企画展が行われるため、何度訪れても楽しめる場所です。

【入館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）【問合せ先】☎0254-23-1013
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）12月29日～1月3日
【入場料】大人510円（団体410円）、高校生210円、小中学生110円
※令和6年4月～大人550円（団体440円）、高校生230円、小中学生120円

新発田市観光情報センター（一社）新発田市観光協会 ❹ E-4

JR新発田駅から徒歩1分。観光案内や自行業手配、レンタサイクル、しばた人市場、チケット販売などの業務をおこなっております。館内にはタッチパネルのデジタルサイネージがあり、英語や中国語にも対応しています。市内のほか、県内全域のパンフレットもあるので、どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

【営業時間】8:30～17:00、レンタサイクルは8:30～15:00（最終返却16:30）
【休業日】12月29日～1月3日
【問合せ先】（一社）新発田市観光協会 ☎0254-26-6789

長徳寺 ❺ A-3

「忠臣蔵」赤穂四十七士の中でも名声高い堀部安兵衛は新発田生まれ。長徳寺は、安兵衛父祖の菩提寺にあたります。境内には、安兵衛が江戸へ発つときに植えたといわれる松の木（現在は2世）があるほか、山門脇の義士堂には、四十七士の木像が収められています。義士堂は12月14日の義士祭の際に一般公開されます。

【拝観】年中無休（拝観自由）
【問合せ先】（一社）新発田市観光協会 ☎0254-26-6789
【HP】https://choutokuji.jp

蔵春閣 ❻ D-3

新発田市出身の実業家・大倉喜八郎が東京の向島に建てた別邸で、令和5年4月に新発田へ移築されました。国内外の賓客をもてなす迎賓館として、金箔11kgが用いられた豪華な天井装飾や大理石を用いたモザイクタイル張りの廊下など見どころが満載です。抹茶やコーヒーと一緒に新発田の銘菓が楽しめるカフェプランもご利用いただけます。

【営業時間】9:00～16:00
【休館日】木曜日（祝日の場合は翌日）、12月29日～1月3日
【入場料】大人500円、小・中学生400円
【問合せ先】0254-28-3255

寺町たまり駅（寺町通り） ❼ C-3

新発田駅から約500m、お寺が建ち並ぶ寺町通りにある「おみやげカフェ」です。城下町新発田の街歩きの拠点として、地域に根ざした お店の商品や情報を取り揃えています。トイレ休憩や地域の方の憩いの場など、無料休憩所としてもお気軽にご利用いただけます。
【喫茶メニュー】
・コーヒーや紅茶、抹茶等のドリンク各種
・うどんやおむすびセットなどの軽食

【営業時間】9:00～16:30
【休業日】12月29日～1月3日
【問合せ先】☎0254-22-1888

清水園（国指定名勝） ❽ C-4
足軽長屋（国指定重要文化財） ❾ C-4

新発田藩筆主の下屋敷として造られた庭園。純京都風の回遊式庭園は、何ともいえぬ風情があります。建物は寄棟造柿葺平屋敷建で、きわめて簡素な数寄屋風のこの建物は当時の下屋敷の面影を偲ぶことができます。また、足軽が居住した茅葺平屋建の八軒長屋からも、当時の質素な暮らしぶりがうかがえます。

【開園時期】3月～10月 9:00～17:00、11月～2月 9:00～16:30
【定休日】1～2月の水曜日※休和6年4月～火曜日（4・5・10・11月を除く）、年末
【入園料】大人700円（団体600円）、小中学生300円（団体250円）
【問合せ先】☎0254-22-2659【HP】https://hoppou-bunka.com/shimizuen/

体感型酒蔵リゾート五階菱（王紋酒造） ❿ D-4

1790（寛政2）年創業の老舗酒蔵。定番の「王紋」や「夢よ、ワインのような味わいをもつ「かれん」など、幅広い種類の日本酒を揃えます。また、2022年に開業した「体感型酒蔵リゾート五階菱」は、県内の観光施設で初めて文化庁より「日本博」に認証され、試飲体験やプロジェクションマッピングが楽しめます。地元のお土産も豊富に取り扱っています。

【営業時間】9:00～18:00【休業日】年中無休
【問合せ先】☎0254-22-5150
【HP】https://gokaibishi.com/（体感型酒蔵リゾート五階菱）

諏訪神社 ⓫ D-4

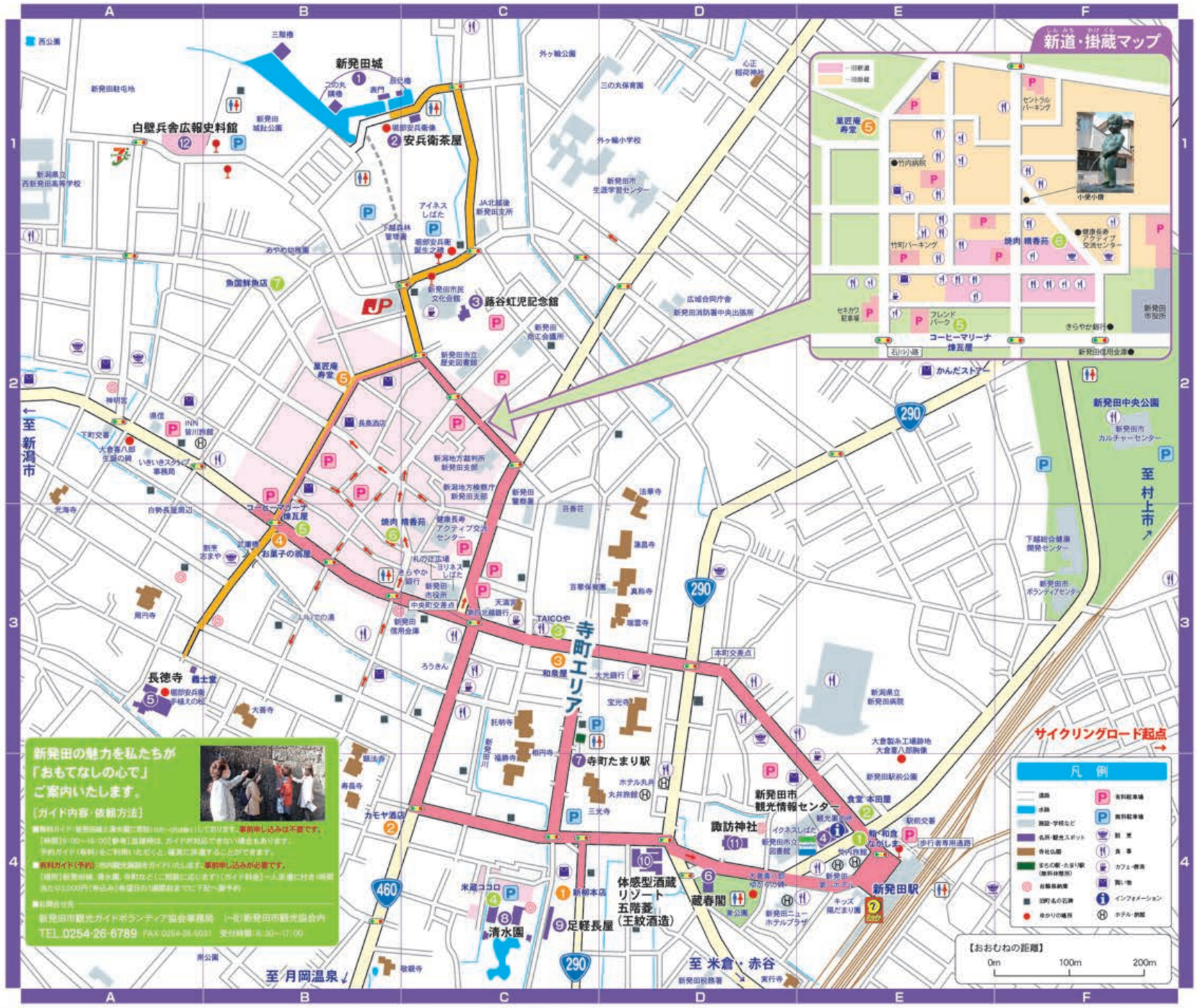
四代藩主溝口重雄侯により、現在の地に移され、七代藩主溝口直温侯が社殿を建立、現在の社殿は、平成16年に再建されたものです。毎年8月27日から29日まで諏訪神社及びその周辺で、城下町新発田まつりが開催されています。また、ご朱印の頒布も行っています。

【問合せ先】☎0254-22-2339
【HP】http://www.osuwasama.jp/
【E-MAIL】shibataosuwasama@gmail.com

白壁兵舎広報史料館 ⓬ A-1

1874年（明治7年）に建設された陸上自衛隊新発田駐屯地内の通称「白壁兵舎」。現在は、広報史料館として多くの人が訪れる場所に生まれ変わりました。館内には新発田城の史料をはじめ、日清・日露戦争から終戦までの郷土部隊の遺品や写真資料、陸上自衛隊の災害派遣、国際貢献活動などが展示されています。また、自衛隊の関連グッズを扱う売店も備えています。

【入場時間】9:00～16:00
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
【入館料】無料
【問合せ先】陸上自衛隊新発田駐屯地 ☎0254-22-3151



食べたい

鮨・和食 ながしま ❶ E-4

新発田駅前にうまいものあり、鮨・和食ながしま。新発田の郷土料理・から寿司が入った花嫁人形御前が人気です。そのほか、日本そばや一品料理、日替わりランチなどもおすすめ。幅広く取り揃えた日本酒もどうぞ。

新発田市飯野町1-2-10（JR新発田駅正面）
☎0254-22-2275
【営業時間】11:30～14:00 17:30～21:00
【定休日】毎週火曜日

食堂 本田屋 ❷ E-4

大正時代創業の食堂で、地物の新鮮な刺身からラーメンまでの幅広いメニュー。中でも、特大サイズの餃子やシューマイが自慢です。女性に人気の酢豚ライスのほか、うなにライスやヒレカツ丼もご賞味あれ。

新発田市本町1-1-3
☎0254-22-3873
【営業時間】11:00～14:00
17:30～20:00(LO)
【定休日】毎週水・木曜日、一部の祝日

TAICOや ❸ C-3

選単位でメニューが変わる今週のパスタ（サラダ、ドリンク付）が人気です。デザートやドリンクも豊富なので、彪富時のひと休みにもご利用ください。また、ギャラリーとして、さまざまな作品や雑貨も展示・販売しています。

新発田市中央町1-2-1
☎0254-26-6269
【営業時間】11:00～17:00
【定休日】毎週日曜日、祝日

米蔵ココロ ❹ C-4

築100年以上の米蔵を改装したレストラン。定番のビザやカキの石焼ビビンバのほか、新発田産のお魚を使った魅カツ丼やフレンチトーストなど、遊び心あふれるメニューも人気です。お酒しの際は、清水園の受付にお声がけいただくと、店舗まで無料で入場できます。

新発田市中央町7-9-32（清水園駐地内）
☎0254-28-7378
【営業時間】11:30～14:00(LO)
17:30～20:30(LO) ※要予約
【定休日】不定休、毎週日曜日の夜

コーヒーマリーナ 煉瓦屋 ❺ B-3

店内は煉瓦造りの落ち着いた雰囲気。一人でもゆっくりくつろぐことができます。もちろんグループや家族連れも大歓迎。サイフォンでいれる香り高いコーヒーや、お食事、デザートメニューも充実しています。自家製ケーキも好評ですよ。

新発田市中央町3-7-5
☎0254-24-1941
【営業時間】9:30～20:00（年末年始を除く）
【定休日】毎週水曜日（祝日の場合は翌日）、1月1日

焼肉 精香苑 ❻ B-3

「焼肉を囲んでみんなの笑顔が生まれます」。良質の和牛をお手頃な価格でご提供させて頂いております。地元・新発田牛と和牛の盛牛が中心のメニューをぜひご賞味ください。営業日の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

新発田市中央町3-12-3 ☎0254-26-0760
【営業時間】11:30～14:00(LO) ※日曜のみ
17:00～23:00(LO)
【定休日】毎週月曜日（祝日は営業の場合あり）、火曜日不定休

魚国鮮魚店 ❼ B-2

新発田名物「から寿し」の販売、手作りの惣菜、いろいろな旬の魚介類を販売している魚国鮮魚店の隣で、和食処「うおくに」を営業しています。魚屋ならではの種類豊富な品揃え、旬の魚を使ったお料理、新鮮なお刺身、お得なランチメニューもご用意してます。

新発田市大手町1丁目1-1
☎0254-22-2570
【営業時間】11:00～13:30(LO)
（鮮魚店は9:00～18:30）
【定休日】毎週日曜日、第3月曜日

買物したい

新柳本店 ❶ C-4

地元のお客様には、清水園まんじゅうのお店として親しまれております。他にも、わらびもちやごぼうびプリン、笹だんごロール、しんやなぎラスク等のお菓子を取りそろえております。食べ歩き用のスイーツも充実しているので、清水園散策の前後にぜひお立ち寄りください。

新発田市諏訪町3-3-13
☎0254-22-3025
【営業時間】8:00～18:00
【定休日】1月1日

カモヤ酒店 ❷ B-4

清水園より徒歩3分。新発田の地酒「菊水」「王紋」「金升」「ふじの井」全4銘柄をはじめ、新潟県の銘酒を取り揃えております。ぜひ新発田が誇る地酒をお買い求めください。

新発田市大栄町2-1-3
☎0254-22-3005
【営業時間】8:00～18:00
【定休日】毎週日曜日、1月1日

和泉屋 ❸ C-3

1890年創業の和菓子店で、初代が考案したごまきんじゅうが名物。市内の（株）いたやま純心村産のこがねもちでつくったお餅でなめらかな舌触りのこし餡を包み、表面はたっぷりの黒ゴマで覆んでいます。また、くるみがんじきや笹団子も人気です。

新発田市中央町2-1-7
☎0254-22-3289
【営業時間】9:30～
（ごまきんじゅうが売り切れ次第終了）
【定休日】1月1～3日、不定休

お菓子の翁屋 ❹ B-3

家肥人りの「旅もなか（おさなもなか）」は県内外からご注文を頂いております。米粉100%使用の「金の穂」や、アーモンドとチョコレートの「フロランタン」（季節限定品）も人気商品です。ご来店お待ちしております。

新発田市中央町3-8-14 ☎0254-22-2710
【営業時間】月曜～土曜日9:00～17:30
日曜日9:30～17:00
【定休日】毎週水曜日（お盆・お歳末期間は営業）
1月1日

菓匠庵 寿堂 ❺ B-2

当店では創業以来自家製餡にこだわり餡を仕上げております。1つの御菓子に合わせて餡を仕上げることが当店のこだわりでもあり伝統です。店内の甘味処では、かき氷やお汁粉を提供しています。事業継承した「スギヤキ」のアイスを含め、ぜひご賞味ください。

新発田市大手町4-1-16 ☎0254-22-2831
【営業時間】9:00～19:00
（日曜日のみ9:00～16:00）
甘味処は10:00～16:00）
【定休日】毎週火曜日、1月1日